

5. 推薦入試

(1) 地域推薦（市内推薦・県内推薦）

地域推薦の市内推薦及び県内推薦は、大学入試センター試験を免除し、調査書、推薦書、志願理由等の出願書類審査、面接、課題作文等により学習意欲や能力を総合的に判定します。また、調査書、推薦書及び志願理由書の出願書類は、履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料として用います。

① 実施日程

個別学力検査等

推薦区分	出願期間	入学試験日	合格者発表日	入学手続期限
地域推薦	11月1日(金)～ 11月7日(木)	11月16日(土)	11月22日(金)	12月6日(金)

② 出願資格

次のア～ウのいずれかに該当する者

ア 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を平成31年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

③ 推薦要件

以下の要件を満たし、調査書の評定平均値が一定水準以上（B段階3.5以上）あり、出身学校長が責任を持って推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学することを確約できる者を対象に推薦入試を実施します。

ア 市内推薦

次のi又はiiのいずれかに該当する者で、iiiに定める推薦人数とします。

i 小松市内に所在する高等学校を平成31年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者

ii 高等学校卒業年度の4月1日以前から引き続き本人又は保護者※が小松市内に住所を有する者で、小松市外に所在する高等学校を平成31年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者

※保護者とは、父母又は主たる生計維持者をいう。

iii 高等学校からの推薦人数は、学部学科ごとに次の通りです。

- ・ 生産システム科学部 生産システム科学科 1校3人以内
- ・ 保健医療学部 看護学科 1校2人以内
- ・ 保健医療学部 臨床工学科 1校1人以内
- ・ 国際文化交流学部 国際文化交流学科 1校3人以内

イ 県内推薦

次の i に該当する者で、ii に定める推薦人数とします。

i 石川県内（小松市を含む）に所在する高等学校を平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者

ii 高等学校からの推薦人数は、各学部学科とも 1 校 1 人以内です。

④ 入学者選抜方法等

学部学科		推薦区分	募集人員	選抜方法等	配点	内容
生産システム科学部	生産システム科学科	市内推薦	6 人	面接 (個人)	100 点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評定します。(数学・物理の基礎に関する試問を含む。)
		県内推薦	7 人	面接 (個人)	100 点	
保健医療学部	看護学科	市内推薦	5 人	面接 (個人)	200 点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評定します。
		県内推薦	5 人	面接 (個人)	200 点	
	臨床工学科	市内推薦	2 人	面接 (個人)	200 点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評定します。
		県内推薦	3 人	面接 (個人)	200 点	
国際文化交流学部	国際文化交流学科	市内推薦	7 人	面接 (個人)	100 点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評定します。
				課題作文	100 点	日常生活又は地域、国際をテーマとする英語による導入文(リード文)を提示し、当該テーマについて日本語で自由作文させることで、文章表現能力等の資質を評定します。
		県内推薦	6 人	面接 (個人)	100 点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評定します。
				課題作文	100 点	日常生活又は地域、国際をテーマとする英語による導入文(リード文)を提示し、当該テーマについて日本語で自由作文させることで、文章表現能力等の資質を評定します。

(2) 一般推薦

一般推薦は、令和2年度大学入試センター試験により一定の基礎学力を確かめるとともに、調査書、推薦書、志願理由等の出願書類審査、面接、課題作文等により総合的に判定します。また、調査書、推薦書及び志願理由書の出願書類は、履修状況・学業成績等を確認するための資料ないし面接試験の参考資料として用います。

なお、大学入試センター試験の成績の複数年度利用は、行いません。

① 実施日程

ア 令和2年度大学入試センター試験

令和2年1月18日(土)、19日(日)

イ 個別学力検査等

推薦区分	出願期間	入学試験日	合格者発表日	入学手続期限
一般推薦	12月16日(月)～ 12月24日(火)	2月1日(土)	2月10日(月)	2月19日(水)

② 出願資格

次のア～ウのいずれかに該当する者

ア 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を平成31年4月から令和2年3月までに卒業又は卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

ウ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月から令和2年3月までに修了又は修了見込みの者

③ 推薦要件

以下の要件を満たし、調査書の評定平均値が一定水準以上(B段階3.5以上)あり、出身学校長が責任を持って推薦できる者で、かつ、合格した場合、入学することを確約できる者

ア 令和2年度大学入試センター試験で志願する学部学科が課す教科・科目を受験する者

イ 高等学校からの推薦人数は、各学部学科とも1校1人以内です。

④ 入学者選抜の実施教科・科目等

ア 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

i 大学入試センター試験で、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の成績を利用します。

ただし、『「地歴」「公民」』の受験科目を1科目と指定した学科において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。

※大学入試センター試験の『「地歴」「公民」』及び「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。

ii 大学入試センター試験で「数学」2科目を課す学科については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

- iii 大学入試センター試験の『外国語「英語」』は、筆記試験（素点 200 点満点）とリスニングテスト（素点 50 点満点）の合計点（250 点）を利用します。
- イ 大学入試センター試験で、志願する学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、個別学力検査等を受験することはできません。また、個別学力検査等で、志願する学科が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格となります。
- ウ 各学科の教科・科目名が表示してある表の下の「大学入試センター試験の注意事項」も必ず参照してください。

【生産システム科学部 生産システム科学科】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名等	配点	合計
一般推薦	〔2教科3科目〕 大学入試センター試験	数学	「数学Ⅰ・数学A」	200 (100×2)	300
			「数学Ⅱ・数学B」		
	理科	「物理」	100		
	個別学力検査等	その他	「面接（個人）」 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評定します。	100	100
合 計					400

大学入試センター試験の注意事項

1. 「理科」は、「物理」の成績を利用します。

【保健医療学部（看護学科、臨床工学科）】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名等	配点	合計
一般推薦	〔2教科3科目〕 大学入試センター試験	数学	【1科目を選択】 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」	100 (50×2)	300
			【1科目を選択】 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」		
	外国語	「英語」（リスニングを含む）	200		
	個別学力検査等	その他	「面接（個人）」 多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評定します。	200	200
合 計					500

大学入試センター試験の注意事項（看護学科・臨床工学科 共通）

1. 「数学」は、2科目とも素点100点満点を傾斜配点で50点とし、合わせて100点とします。
2. 『外国語「英語」』は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計点（250点）を傾斜配点で200点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者については、筆記試験の得点（200点）をそのまま利用します。

【国際文化交流学部】

大学入試センター試験・個別学力検査等の利用教科・科目名等

試験区分		教科	科目名等	配点	合計
一般推薦	〔3教科3科目〕 大学入試センター試験	国語	国語	100	400
		地歴 公民	【1科目を選択】 「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	100	
		外国語	「英語」（リスニングを含む）	200	
	個別学力 検査	その他	「面接（個人）」 多面的な質問を行い、勉強意欲と資質を評定します。	200	400
		その他	「課題作文」 日常生活又は地域、国際をテーマとする日本語による導入文（リード文）を提示し、当該テーマについて自由作文させることで、文章表現能力等の資質を評定します。	200	
合 計					800

大学入試センター試験の注意事項

1. 「国語」は、素点200点満点を傾斜配点で100点とします。
2. 『「地歴」「公民」』で2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を利用します。
3. 『外国語「英語」』は、筆記試験（素点200点満点）とリスニングテスト（素点50点満点）の合計点（250点）を傾斜配点で200点とします。なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者については、筆記試験の得点（200点）をそのまま利用します。

6. 社会人入試

(1) 実施日程

個別学力検査等

区分	出願期間	入学試験日	合格者発表日	入学手続期限
社会人入試	11月1日(金)～ 11月7日(木)	11月16日(土)	11月22日(金)	12月6日(金)

(2) 出願資格

次のア～ウのいずれかに該当し、満23歳(令和2年3月31日現在)に達しており、社会人としての実務経験(非正規雇用及びNPO、NGOでの活動を含む。)を3年以上有する者を対象に、社会人入試を実施します。

ア 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)を卒業した者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

ウ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※ 上記出願資格「ウ」により出願しようとする者は、事前に入学資格審査を行う場合がありますので、願書受付開始日の1か月前までに本要項27ページの「お問い合わせ」へご照会ください。

(3) 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、調査書、志願理由書の審査、面接、小論文により総合的に判定します。

学部学科	募集人員	選抜方法等	配点	内容
保健医療学部	看護学科	面接(個人)	200点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価します。
		小論文	200点	人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、論述することを求めます。
	臨床工学科	面接(個人)	200点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価します。
		小論文	200点	人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、論述することを求めます。